



シルバーだより

No. 364
令和3年4月1日
荒川シルバー大学
荒川区荒川3-49-1
理事長 岡田芳子
TEL 3801-5740
FAX 3801-5691

— 令和3年度の出発にあたって —

理事長 岡田 芳子

令和3年度が始まりました。

開講・入学式が4月16日に挙行されます。役員の皆様が準備をすすめて下さっています。

ご存じのように令和2年度は、新型コロナウイルスの感染予防による国からの自粛要請で様々な行事が中止になりました。学習におきましても、ほとんどの教室で十分にできませんでした。心苦しく思っておりますが、講師・学生の皆様はご理解下さり、どうか令和2年度を閉講することができました。そんな中、令和3年度の募集が教室中心で事前に行われた後、一般募集が行われました。コロナ禍の中、学生が集まるだろうかと心配でしたが、シルバー大学は、一人一人の学生が学校の経営者となって「おらが学校」という思いで募集に力を入れて下さいました。

ところで3月17日、令和2年度の閉講・卒業式が人数制限の中、サンパール荒川で行われました。前半は閉講・卒業式で49名の卒業生(5年間学んだ学生)。後半は、20分の間をあけての受賞式で、奨励賞(10年学んだ学生)47名、学長賞(20年学んだ学生)13名、理事長賞(30年学んだ学生)はおりませんでした。長寿賞(100歳の学生)が1名いらっしゃいました。この学生は、シルバー大学創立2年目から学び、今でも常任理事として歴史を語り、シルバー大学のあり方を助言して下さいます。以上が令和2年度の受賞者で、今後もほとんどの学生が学び続けます。この他に退任される講師・助手・役員の皆様へ感謝状が贈られました。ありがとうございました。



今年度は、学習がスムーズに行われることを願うばかりですが、先が読めないコロナの現状です。学習する場所である生涯学習センターを中心に、その他ひろば館・ふれあい館等は荒川区のご理解ご協力(西川太郎区長様、区議会議員、そして区役所の方々)のおかげです。区報等で施設の利用状況が掲載されますのでご覧下さい。

そして、学習に参加する折は、ご自身の健康第一で、その日の体調に充分気をつけて下さい。私は社会とかかわることは健康の条件の大事な一つと思います。楽しく学習できることを願う日々です。

《《 東日本大震災 あれから 10年 》》

2011年3月11日で10年になる。あの日、テレビで見た光景は今でも目に焼き付いて、はっきりと思い出すことができる。私はテレビ画面に釘付けになって、何も手につかず呆然としていた。その翌日、福島原発が爆発し、巨大津波と原発事故が重なり、誰もが体験したことのない未知の複合災害となった。放射能が拡散して避難区域と指定された富岡町、双葉町、大熊町…の人々は各地への避難を余儀なくされた。原発は安全と信じていたが、現実起こったことは余りにも想像を絶する状況だった。時の政権は民主党、総理大臣は菅直人、事故現場の混乱ぶりに注目が集中した。

私は2012年8月末、「復興支援ツアー」に参加した。上野から新幹線で盛岡へ、そこからバスに乗り換え岩手県田野畑村へ。そこで被災者の語り部の方から体験談を聞いた。草が生い茂っていた場所で「ここには私たちの集落があり、三陸鉄道の駅舎もあった」との説明があったが、全てなくなっていた。三陸鉄道は不通になっていたが、運行していた久慈から田野畑まで車中から海を眺めた。海面はキラキラと輝き、松林は緑鮮やかで、



あの日起こったことが信じられないほど穏やかだった。しかし、眼を転じれば、瓦礫が積み上げられ、土台だけになった住居跡が痛ましい状況で残されていた。

翌年の6月初め「震災後の福島に正しく向き合うために福島の今を学ぶ旅」一泊旅行に参加した。福島第一原発危険地域、大熊町の皆さんが住む会津若松市の仮設住宅を訪ねた。3月11日午後2時46分地震と津波が襲った。翌朝6時頃「福島原発が危ない。避難するように」との連絡があり、まずは年寄りや子供がバスに乗り込み、その8時間後、茨城交通のバス37台に乗り、三春町の体育館に落ち着いた。飲まず食わずで移動し、夜10時頃やっと毛布が配られた。そこで、原発の爆発があったことを知った。話してくださった自治会長は、原発の作業員として40年働いていたそうだ。その後いわき市を訪問した。海岸沿いは、9メートルの防潮堤のかさ上げ工事中だった。福島の産物は、風評被害で売れなくなってしまったが、厳重検査を受けているので安心して食べて欲しいと言っていた。

2020年3月の新聞に不通になっていた富岡―浪江間が再開し、常磐線全面開通という記事があった。コロナ禍のため、外出を控えていたが、10月思い立って出かけた。上野発8時ひたち3号に乗り浪江着11時14分。駅前には何もなくタクシーが1台止まっているだけだった。運転手さんをお願いして原発が見える場所に案内してもらったが、ここから先は行けないと言われて車から降りた。遠くに原発の塔(?)が、ぼんやり見えた。そこから近くの請戸(うけど)小学校へ行った。曲線を描く洒落たデザインの学校だった。津波で廃校になり遺構として残されるそうだ。放置された田畑は草で覆われ、道路を挟んだ片方は焼却炉が煙を吐き出していたが、あの当時は瓦礫が山を作り、毎日大量に燃やされていたそうだ。駅周辺にも町なかにも店らしいものは何もなく、数件あった仮店舗で海鮮丼を注文した。

8月に「道の駅なみえ」がオープンしたと聞き立ち寄った。木材を使った「なみえ」は産地直売をメインに、当地グルメの“なみえ焼きそば”も販売していた。帰途は車窓から原発事故の痕跡はないかと見つめていた。双葉駅、大野駅辺りには黒いビニール袋が積まれていた。海岸線はかさ上げ工事中のブルドーザーやトラックが動いていた。浪江駅にパンフレット『『廃炉の大切な話』経済産業省 資源エネ

ルギー庁」が置かれていた。原発事故と廃炉への道筋が描かれている。汚染水のタンクの処理、廃炉まで 30 年～40 年と目標が示されていたが、果たして実現するのだろうか。

常磐線福島辺りは太平洋のすぐ近くを走っている。穏やかな美しい海岸線を眺めていると、10 年前のあの荒々しい津波の出来事が信じられない。

主(あるじ)のない空き家に柿の実が沢山なっていた、青空に映えて…。痛ましい…。

東日本大震災直後、荒川区にも多くの方が避難されました。当時広報部の一員としてその方たちに何度かお話を伺う機会がありました。その後、いかがお過ごしでしょうか。

(2021 年 1 月 26 日 自分史教室 井口 和子)



絵手紙 B 教室の作品です

《《 「歌声喫茶」のような教室 》》

元歌声クラブ教室助手 高橋 建司

学生時代に友人と通った新宿の“ともしび”店がコロナの影響で、復活の含みを残して昨年 9 月に休店した。昭和 30 年代、安価なコーヒーやジュースを飲みながら、小さな歌集と軽妙な司会(リーダー)と一つのアコーディオンで唱歌、ロシア民謡、労働歌、反戦歌等を知らない同士で歌う楽しさは今でも忘れられない。人々の連帯感を生む歌声喫茶の人気は上昇し、連日満員となった。

その頃の年代の方が多いいシルバー大学の教室に「歌声クラブ」の案を私が持ち込んだのは 11 年前。当時は、文化系の教室に助手を置く制度がなく、役員の方たちに理解してもらうのに苦労した。ピアノの先生とリードする人がいない教室は、私には考えられなかったのである。

「歌声クラブ」は今年度で 10 年目を迎え、受講生が最多の教室になり、歌声喫茶を知らない世代も増えてきた。この歌は誰の作詞作曲か、歌のできた年代や背景なども解説し、9 年間でざっと数えて 2000 曲以上を語り、歌ってきた。

教室のルールができた。私の役目は終わりに近づいたようである。



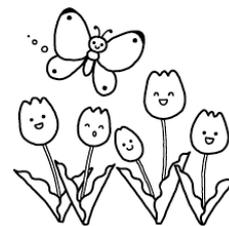
4月の行事

令和3年度 開講・入学式

期日：令和3年4月16日（金） 時間：午後2時（受付：1時半より）

会場：ムーブ町屋 ムーブホール

- | | |
|-------------|----------|
| 1. 開式の言葉 | 1. 講師紹介 |
| 1. 理事長挨拶 | 1. 役員紹介 |
| 1. 新入生紹介 | 1. 校歌 |
| 1. 学長式辞 | 1. 閉式の言葉 |
| 1. 新入生誓いの言葉 | |



コロナ禍の人数制限により、式への参加は、新入生、講師、常任理事となります

◆◆◆◆◆ 学 園 日 誌 〈3月〉 ◆◆◆◆◆

- | | |
|--|--------------------------|
| 1日 次年度閉講・卒業式会場申請
(サンパール荒川・R4.3.22) | 17日 令和2年度閉講・卒業式
賞状授与式 |
| 2日 次年度開講・入学式会場申請
(ムーブ町屋・R3・4・16) | 卒業生 49名 |
| 3日 常任理事会・教室代表者会
地区班長会
(募集申込み状況/閉講式について・受賞者確認/開講・入学式) | 奨励賞受賞者 47名 |
| 4日 賞状準備 事務局 | 学長賞受賞者 13名 |
| 5日 賞状準備 (増山・伊東) | 感謝状受賞者 5名 |
| 10日 賞状確認 理事長・学長 | 長寿賞 1名 |
| 16日 広報委員会 | (サンパール荒川) |
| | 23日 保険加入書類作成 |
| | 26日 三役・企画部会議 |
| | 29日 令和3年度学校要覧作成 |
| | 30日 シルバーだより364号作成 |

※ 事務局だより ※

コロナ禍2年目の春です。感染予防対策基本の手洗い・マスク着用も、気が緩み疲れや慣れが生じる時期と感じます。気を引き締めて、シルバー大学生として模範を示して参りましょう。新入生そして在校生の皆様、ご入学、ご進級おめでとうございます。当校は、自ら学ぶ事を志す人達が、自ら作った学習の場です。

1. 新年度書類配付について（各地区役員さんによる）

- ①シルバーだより4月号 ②令和3年度日程表 ③第一回目の持ち物

※従来の「学校案内」・「規約・名簿」は《学校要覧》として1冊になり、5月配付と致します。

2. 講師会について 4月23日（金）午後1時 会場：センター 大会議室

(事務所) TEL 03-3801-5740 FAX 03-3801-5691

(ホームページアドレス) <http://www.arakawa-silver.com/> 室長 田原